

## ◆beyond2020プログラムの趣旨及び経緯

- 2020年は、文化プログラムを通じて日本の魅力を発信する絶好の機会。
- 2020年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーの創出に資する文化プログラムを「beyond2020プログラム」として認証し、ロゴマークを付与することで、オールジャパンで統一感を持って日本全国へ展開する。
- 本年1月に、ロゴマークを発表し、認証を開始。

## ◆認証事業のイメージ

- 日本文化の魅力を発信するとともに、共生社会、国際化に繋がるレガシーを創出。
- 公的機関のほか、民間事業者、任意団体等幅広い参画が可能。
- 日本全国津々浦々で実施される地域の祭り等も含め、多様な分野の事業を認証。

## ◆認証要件

### ●日本文化の魅力を発信する事業・活動

※日本文化とは、伝統的な芸術からクールジャパンとして世界中が注目するコンテンツ、和食などの食文化、祭りや伝統的工芸品など、多様なものを含む。

### ●多様性・国際性に配慮した、以下のいずれかを含んだ事業・活動

- ・ 障害者にとってのバリアを取り除く取組
- ・ 外国人にとっての言語の壁を取り除く取組

## ◆ロゴマーク



ロゴマークのデザインは、「いいね」や「グッド」などの賛同のジェスチャーをモチーフ。  
加えて、beyondの「b」や、日本を象徴する「わ」とも読み取れる。  
日本の文化を共に継承し広げていきたい、との願いを込めて、2020年を新たなる発展へのステップとしてシンボライズしたロゴマーク。

# beyond2020プログラム先行事例

## ◆大相撲beyond2020場所

- 「相撲」の国際発信力や障害者のアクセシビリティを強化するべく、両国国技館の枱席を外国人客で埋め尽くし、外国語対応が可能な和装スタッフによる対応、英語による解説などを配した特設イベントを実施。
- プロジェクトを通じ多様性に応じた導線のあり方、座席位置、案内等の運営検討、実証的データを整備するとともに、日本文化や大相撲の魅力を国内外に発信。



○場内放送を、日本語・英語の2か国語で実施すると共に、パンフレットも日英併記したものを配布。



○手話による説明やモニターを設置。聴覚障害者の方は聴導犬とともに観戦。